

都市再生整備計画 事後評価シート
海老名市東部丘陵地区

平成23年3月

神奈川県海老名市

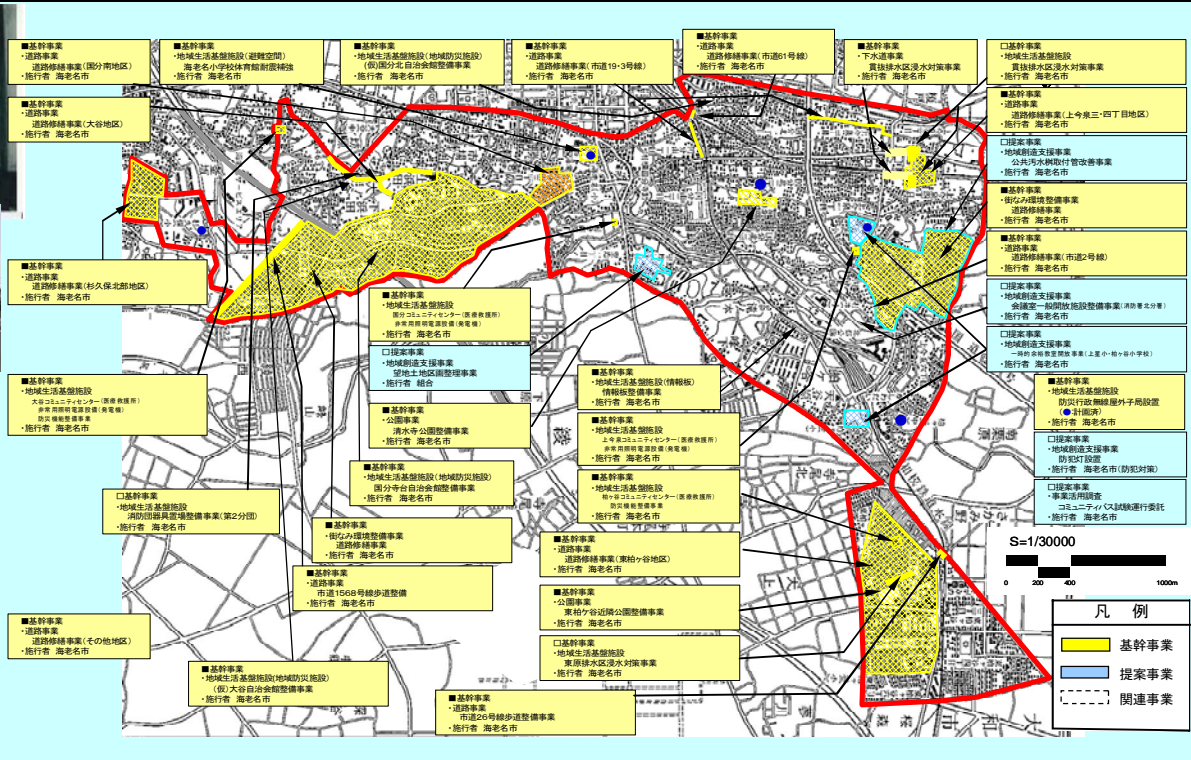
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	海老名市		地区名	海老名市東部丘陵地区			面積	727ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,896百万円	国費率	0.407			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道1568線、市道26号線、市道1183号線他50路線)、地域生活基盤施設(情報板整備事業、大谷コミュニティセンター(医療救護所)、海老名小学校(広域避難場所))、街なみ環境整備事業(道路修繕事業)									
		提案事業	地域創造支援事業(一時的余裕教室開放事業、土地区画整理事業(市単独費)、公共汚水樹取付管改善事業)、事業活用調査(コミュニティバス試験運行、道路測量調査)									
	事業名											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-									
		提案事業	地域創造支援事業(東原排水区浸水対策事業、貫抜排水区浸水対策事業、柏ヶ谷コミュニティセンター大規模改修、大谷コミュニティセンター大規模改修、消防団器具置場整備事業(大谷地区第2分団))									
新たに追加した事業	基幹事業	①道路修繕事業(市道531号線、市道691号線、市道1316号線、市道2127号線、市道2169号線、市道2170号線、市道2125号線、市道61号線、市道89号線、市道2号線、市道19号線、市道3号線) ②公園整備事業(東柏ヶ谷近隣公園整備事業、清水寺公園整備事業) ③地域生活基盤施設(上今泉コミュニティセンター、国分コミュニティセンター、(仮)国分北自治会館整備事業、国分寺台自治会館整備事業、防災行政無線屋外子局設置、(仮)大谷自治会館整備事業) ④地域生活基盤施設(消防団器具置場整備事業、東原排水区浸水対策事業、貫抜排水区浸水対策事業(上今泉地区)、柏ヶ谷コミュニティセンター) ⑤下水道浸水対策事業(貫抜排水区浸水対策事業)				①学童等通行者の安全確保、避難路としての安全対策、車道舗装の舗装改修の必要性から追加 ②地域コミュニティ形成の場の充実、地域住民の安全・安心、快適な生活環境の改善の必要性から追加 ③地域コミュニティ形成の場の充実、地域住民の安全・安心、快適な生活環境の改善の必要性から追加 ④地域の防災拠点として防災体制の強化を図るため提案事業に追加し、地域の防災機能向上に資する公共施設の整備に該当する事業として、提案事業から基幹事業へ移行 ⑤下水道補助採択基準見直しに伴う提案事業から基幹事業への変更				①、②指標1に関連するが、数値目標は据え置くものとする。 ③指標2に関連するが、数値目標は据え置くものとする。 ④、⑤影響なし。		
	提案事業	①地域創造支援事業(防犯灯設置) ②地域創造支援事業(会議室一般開放施設整備事業) ③事業活用調査(事業効果分析)				①全市民的な防犯対策における、重点的な防犯灯の設置事業として追加 ②消防署北分署建設時の会議室の地域コミュニティ形成の場として活用するため追加 ③事後評価に資する事業効果の分析等のため追加				①、②指標1に関連するが、数値目標は据え置くものとする。 ③影響なし。		
	交付期間の変更	当初変更	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	指標1	人口定着	件	265	H17	291	H22	211	△	あり		
指標2	防災拠点の整備	%	91	H18	93	H19	93	○	あり	地域防災計画に位置付けられた広域避難施設(海老名小)の整備により、耐震化された施設に避難できる住民の人数の増加に貢献した。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み		
	その他の数値指標1	生活環境に対する満足度	%	40	H17			48				
その他の数値指標2	防災に対する満足度	%	20	H17			32			避難所の耐震化に加えて、防災行政無線屋外子局の設置や浸水対策事業などにより、災害に対する市街地の安全性が向上し、地域の防災力が大幅に向上した。	平成23年9月	
4)定性的な効果発現状況	平成21年度市民意識調査の自由意見において、「市民の生活レベルが高く、町全体が落ち着いている。」「今後も発展しそうだ。」「だんだん道路のアクセスが良くなってきた。」「住環境が整っている。」「交通機関が充実している。」等の生活環境が向上している傾向の意見が多く寄せられている。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	特になし				都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。					-	
	住民参加プロセス	コミュニティバスの「沿線住民アンケート調査」、「利用者アンケート調査及び利用者状況調査」の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。					● 数年おきに課題の確認を行い、運行内容等を再検証することで、効果の維持・向上に努める。	
	持続的なまちづくり体制の構築	特になし				都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。					-	

様式2-2 地区の概要

海老名市東部丘陵地区(神奈川県海老名市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安心・安全でうれしいのある住宅市街地の整備 目標1:生活環境の改善により人口定着を図る。 目標2:地域の防災設備の整備を行い、地域の防災体制を強化する。	人口定着	単位:件	265	H17	291	H22	211	H22
	防災拠点の整備	単位:%	91	H18	93	H19	93	H22
	生活環境に対する満足度	単位:%	40	H17	—	—	48	H22
	防災に対する満足度	単位:%	20	H17	—	—	32	H22



まちの課題の変化	<p>○課題であった生活道路の修繕及び生活環境の整備により、生活環境に対する住民満足度が大幅に向上したが、歩行者空間の確保に力を入れたため、慢性的な渋滞が未解決である。</p> <p>○広域避難施設の整備により課題であった防災施設の機能強化が図られたが、公共施設だけでなく一般の住宅や建築物の耐震化促進が求められている。また、防災に対する満足度は向上したものの、高い状態とはいえない。</p> <p>○課題であった交通不便地域の解消のため、コミュニティバス試験運行(上今泉ルート)により、交通機関アクセスの利便性が向上した。</p> <p>○地域の防災機能が向上したものの、地域情報の入手がしづらい新住民や高齢者単身世帯等が利用しやすい配慮が求められるなど、新たな課題も発生している。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【安全・安心対策の強化】道路整備に伴う歩行空間の整備のほか、防犯灯の照度不足や交番不足等の防犯面の強化を進めることで、安心・安全面を強化する。</p> <p>【コミュニティバスの継続的運行】交通機関アクセスの利便性の維持および公共交通不便地域等におけるバスサービスの充実を図るために、数年おきに運行内容等の再検証を行い、効果の維持・向上に努める。</p> <p>【継続的な道路整備】幹線道路や周辺道路の整備の推進による渋滞等の交通問題の解消や交通安全対策を推進する。</p> <p>【防災対策の更なる強化】一般の住宅・建築物の耐震化を促進し、安全な市街地の形成を図る。また、自主防災組織の強化を図る。</p> <p>【地域コミュニティの充実】地域交流の充実に向けて、希薄になりつつあるコミュニティの育成を行う。</p>